



## ソラシド エア、ファイナンスリースの実施により 初めて航空機を自社保有

ソラシド エア(スカイネットアジア航空株式会社 本社:宮崎市 代表取締役社長 高橋 洋)は、機材調達多様化の一環として、これまで、オペレーティングリースにより調達してきた航空機 1 機を、今般、新設 SPC(特定目的会社)、(株)マンゴーファイナンスを通じた新たなリース契約に変更し、実質的に初めて航空機を自社保有することとなりました。

本件は、株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長 橋本 徹、以下 DBJ)と九州地区の地方銀行 5 行の協調融資(シンジケートローン)により資金調達されたものであり、我が国航空会社を対象とした本格的な機材ファイナンスに、地方銀行が中心的に参画する初のケースとなります。

当社は、2002 年 8 月の就航以来、九州・沖縄を地盤とするエアラインとして、機材品質の向上と経営基盤の強化に努めてまいりました。特に 2011 年以降は新型機材への切り替えと新ブランド「ソラシド エア」の浸透により、6 期連続の黒字決算を達成し、さらなる顧客基盤の安定化と黒字体質の強化に向けて、鋭意取り組んでいるところです。

今般、近時の急激な円安傾向による為替リスク(外貨建てリース料の増加)の解消と、リース形態の変更によるキャッシュフローの改善効果等を狙って、リース元の GECAS 社(本社アイルランド、シャノン)から機材を買い取り、新規に国内に設立される SPC、(株)マンゴーファイナンスに転売し、改めて同社より当社がリースを受けることとしました。これにより当社は実質的に初めて航空機を自社保有することとなったものです。

また、今回の SPC に対するシンジケートローンは、DBJ と当社が就航する地域を代表する地方銀行 5 行(宮崎銀行、宮崎太陽銀行、大分銀行、肥後銀行、鹿児島銀行)により組成されたものであり、当社の業績改善による信用力の向上を反映するとともに、九州地域内における資金還流にもつながるものと認識しております。当社としても、「九州・沖縄の翼」として、これを機に、地域社会とのつながりを一段と強化し、地域の皆様になくてはならないエアラインと評価いただけるように、一段と努力してまいります。

### 【概要】

対象航空機	登録記号 : JA804X
	型式 : ボーイング 737-800 型機
	座席数 : 174 席

